

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 5 月 31 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長篠 崎 佳 之 様

議員氏名(大内晃子



研修・視察日時	令和 5 年 5 月 27 日
研修会場・視察先	市川房江記念会女性と政治センター 婦選会館
研修名・視察目的	市川房江政治参画フォーラム 2023 子どもの権利の主体とする「子ども政策」の推進を！
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	・基調講演「子ども・若者の声を聞いて・・・」 ～地域(栃木)に広がる子ども若者支援 (一社)栃木県若年者支援機構代表理事 中野謙作氏 ・講演 スマホ世代の子どもとどう向き合うか ～SNS,ゲーム、ネットいじめの問題を考える ジャーナリスト 石川 結貴氏 ・講演 保育の質を考える ～保育の環境・保育士の労働条件・保護者支援 川村学園女子大学教授 手塚崇子氏 「子どもの権利」について、実勢活動より学ぶ。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	「こども基本法」が 2023 年 4 月から施行され、教育現場でどのように、子どもを権利の主体とし、子どもたちの意見が尊重される、学校運営へ転換期となっている。小山市でも不登校児童生徒が増えている中、実践活動をしてきた講師の経験を元に、居場所のあり方や政策への参考となった。 保育者の労働条件・環境を整えていくことで、市全体の保育の質を上げていくことの必要性としっかり現場に足を運ぶことの重要性を知り、今後の視察や調査のあり方の参考となった。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 6 月 3 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳之 様

議員氏名(大内晃子)



研修・視察日時	令和 5 年 6 月 3 日
研修会場・視察先	市川房江記念会女性と政治センター 婦選会館
研修名・視察目的	市川房江生誕 130 年記念シンポジウム いまこそ平和と平等を！国内外の連携を目指して
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	石川敦子
調査概要	パネリストに元国連女性差別撤廃委員会委員長、林陽子氏・GENCOURAGE 代表 櫻井彩乃氏・コーディネーターに日本総合研究所調査部主席研究員 西沢和彦氏による、女性をめぐる日本の政治状況を大きく揺り動かしてきた市川房江氏が切望していた国連・女性差別撤廃条約 採択から 38 年、平和と平等を実現していくための、国内連携への道筋や課題について。女性参政権を要求した、市川房江の業績の振り返り。人権を尊重するための法律の仕組みから遅れてしまっている日本の現状。若い世代でのジェンダー平等への現状と活動について。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	今後、男女共同参画を推進していくにあたり、時代の流れやそこに関わってきた人や活動の中で変わってきたこと、人権を尊重するための法律について、現状をしっかりと理解していくことの大切さ。 ジェンダーの課題は、国全体の課題であり、より正しい知識やよりよい情報を得ることで意識を高めることができた。現代～未来への課題解決には、実践者からの知識を体系的に学び、世代を繋ぎ、アクションを起こしていくイメージを感じとることができた。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 12 月 20 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(大内晃子)



研修・視察日時	令和 5 年 7 月 2 日
研修会場・視察先	ミナテラスとちぎ セミナールーム A
研修名・視察目的	国光美佳先生によるミネラルセミナー 「目指せ ミネラルオーガニックごはん」
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	「ミネラルオーガニック」をテーマに、国光美佳先生による講義 なぜ、ミネラルが重要なのか。食が心にもたらす影響とともに、家庭で取り入れるための、調理法やだしの活用方法について。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	現代の食が心や健康にもたらす影響を知ることができた。 オーガニックだけを推進するだけでなく、不足しているミネラルの補給も推進していくことが大切である。 また、増えている子どもの発達障害や学習障害の原因がすべて食事ということではないが、ミネラルをとり入れることによる改善例があることから、ミネラルとともにオーガニックビレッジ宣言での、学校給食での有機食材の推進をすることが子どもたちの健康と心の安定にもつながる可能性を学ぶことができた。

視察調査・研修会等報告書

令和5年10月17日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之様



議員氏名(大内晃子)

研修・視察日時	令和5年10月12日～10月13日
研修会場・視察先	青森県八戸市
研修名・視察目的	第85回全国都市問題会議
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	青森県八戸市市長 熊谷雄一氏
参加議員(同行者)	山野井孝 石川敦子
調査概要	今年のテーマは、「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」である。八戸市では、面積約305Km² 人口約22万人の中核市であり、水産、工業、国際物流拠点都市として発展してきた。 新たな交流と創造の拠点とし、地域資源の魅力創出・発信・文化芸術・産業・観光・市民活動・子育て支援といった各政策を一体にした施設や活字に親しむことで心の豊かさや社会の担い手となる人材の育成を目的、新たな地域資源の創出。防災拠点機能を併せ持つアリーナのオープンなど、様々な人々が集い新たな文化コミュニティーの創出しつづけられる 拠点施設が多くあることで、「生きる歓び」に訴えかける人間の本質価値の気づきによる、まちづくりの仕掛けとプロセスの重要性を学ぶ。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	老朽化に伴い建て替えを検討している施設があるなか、魅力があり、人をひきつけ、交流や文化芸術の創出・発信の拠点となる施設が求められ、必要と感じている。既存の施設と変わる機能をもつ新施設整備の計画では、市民の理解が重要であり、計画段階からの市民参加が重要であり、そのプロセスを参考にしたい。YSアリーナなどの大きな施設が、有事の際、避難所や支援物資の受け入れもでき、市民の安心につながっていることから、コンパクトだけではなく、災害時への有効な活用も視野に入れ参考にしたい。

視察調査・研修会等報告書

令和5年10月27日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳之様



議員氏名(大内晃子)

研修・視察日時	令和5年10月25日～令和5年10月26日
研修会場・視察先	福岡県北九州市小倉
研修名・視察目的	全国市議会議長会研究フォーラムin北九州
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	大正大学教授兼地域構想研究所長 片山 善博氏
参加議員(同行者)	山野井孝 石川敦子
調査概要	地方議会にかけていることとして、1, 地方議会において、主たる決定は議会でなされていることを再認識する。2, 税の議論を住民の声を聞き、違う視点で見てよりよい案にかえる。3, 議案をもっと丁寧に審議することの大切さ。の3点をあげられ、予算については、議案の審査の審議が予算案の結論を変えることができることや方法などを視野にいれること。議会の権限をしっかりと活用し、市民の常識からずれない説明や執行部への働きかけなどを積極てきにしていくことが大切。 パネルディスカッションでは、統一地方選挙の検証と地方議会の課題について、データをもとになり手不足や、投票率の低下、報酬、ハラスメント対策などをふまえ、解決に向けた議会の多様性の必要性が語られた。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	予算審査で今後審議するにあたり、かけている3点を念頭に置き、議会の役割や権限など再認識し、権限を理解しよりよく市民の声をいかした議論がなされるよう、心構えをもって挑めるよう参考になった。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 12 月 20 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(大内 晃子



研修・視察日時	令和 5 年 10 月 26 日
研修会場・視察先	福岡おもちゃ美術館
研修名・視察目的	・木育を活用した子育て支援活動について ・商業施設に併用したおもちゃ美術館の効果について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	福岡おもちゃ美術館:副館長 大仁 香織
参加議員(同行者)	山野井孝・石川敦子
調査概要	福岡おもちゃ美術館 ・施設整備の目的、利用状況 ・イニシャルコスト及びランニングコスト ・整備後の課題等
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	・子育て支援の支援政策の一つとして、子どもと保育者の居場所や交流の機会創出や自然環境への関心が高まる施設を小山市に導入できないか先進地の事例を参考に検討していく。 ・ロブレの空スペースの活用の一つとして、おもちゃ美術館の商業施設での併設による効果についての調査を元に、小山市への導入の仕方を検討していく。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 10 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳之 様

議員氏名(大内晃子)



研修・視察日時	令和 5 年 10 月 28 日
研修会場・視察先	市川房江記念会女性と政治センター 婦選会館
研修名・視察目的	市川房江フォーラム ・シングルマザーの困難と女性の人権 ・女性に困難を抱えさせない健康福祉政策とは ・「年収の壁」にどう取り組むか
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	女性を取り巻く様々な課題の中から、シングルマザー 健康福祉政策 年収の壁の 3 つのテーマをそれぞれ専門家より、現状と課題・今後の政策について知識を深める。 シングルマザーにおいて、行政窓口でのハラスメントやコロナ渦・物価高騰の影響が重くのしかかり、連鎖的に母子ともに貧困に陥って現状。 健康福祉政策の中では、SRHR の推進や他国での思春期ケア等、性教育が性暴力・犯罪を阻止し、健康で自分らしく幸せに生きるために必要。 女性の働き方の大きな壁となっている、年収の壁の仕組みと根本的解決についての提言。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	シングルマザーや年収の壁、健康福祉のすべての元にジェンダーの問題があることを知れた。市での様々な課題の根っこにジェンダーの問題がないかの視点を持ち、根本的な解決策はないのか、検討していく材料となった。国の制度等よく理解していきたい。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 11 月 10 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳之 様



議員氏名(大内晃子)

研修・視察日時	令和 5 年 11 月 6 日
研修会場・視察先	東京おもちゃ美術館 檜原森のおもちゃ美術館
研修名・視察目的	閉校跡地利活用に検討できないか調査するため
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	東京:副館長木育推進事業部 部長 星野太郎 檜原:副館長 清水主税
参加議員(同行者)	山野井孝・石川敦子・直井一博
調査概要	閉校跡地利活用として、子育て支援、木育、地域活性化、地域交流、多世代交流、地域文化交流など多様な効果を得られる可能性のある先進施設の 2 施設の現地調査。 施設の理念や運営の仕組み、閉校跡地をどのように活用したのか、入場者の数や運営の課題など伺う。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	現在豊田南小・北小、今後網戸の閉校跡地利活用の課題がある中、実際に閉校跡地を利活用し、子育て支援や地域・世代・文化交流ができ、檜原村においては、交通が不便で人口 2000 人に対し、年間 4 万人利用されている施設、他の自治体でも設置、運営されている実績から市民にも必要とされるのではないかと、多世代において人を育てるという面でも効果が期待される。 木に触れることによる精神的安らぎがえられ、地域文化への関心も高められる。地域の方に情報を提供し、利活用の選択肢の一つとして検討したい。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 12 月 17 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(大内 晃子)



研修・視察日時	令和 5 年 11 月 27 日
研修会場・視察先	ライトキューブ宇都宮 1F 会議室
研修名・視察目的	連合栃木総合生活研究所 2023 年度セミナー 笑いながら考えよう！自分らしく生きる社会
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	講師:瀬地山 角 氏(東京大学教授)
参加議員(同行者)	
調査概要	・仕事や家庭生活など様々なステージにおける性差について理解を深め、これからの働き方・生き方を考える。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	・現在の働き方の性差の現実を知る。 ・男性が家事育児をすることのメリット、ともに働きともに家事育児に参画していくための企業での取り組みや、理解の必要性について。 ・男性側が受けている差別について。 男女共同参画を推進している中、様々な視点から現代における、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できるよう、市政に反映できるよう情報を共有していきたい。

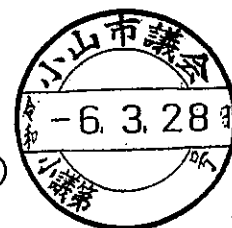
視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 2 月 6 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之様

議員氏名(大内晃子)



研修・視察日時	令和 6 年 1 月 27 日
研修会場・視察先	市川房江記念会女性と政治センター 婦選会館
研修名・視察目的	市川房江政治参画フォーラム 2024 年度予算、国・自治体はどう動く
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	
調査概要	・基調講演「2024 年度予算、国・自治体はどう動く」 元地方自治総合研究所 菅原敏夫氏 ・講演「横須賀市におけるデジタル・ガバメント推進の取組み」 横須賀市 経営企画部 ICT 戦略専門官 松本敏生氏 ・講演「これからの都市計画とまちづくり」 東北大学学院教授 窪田亜矢氏 国の財政状況を理解し自治体予算とは何か、また、行政 DX は何のために導入するのか知識を深める
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	国からの令和 6 年度の地方財政の見通し・予算編成上の留意事項等について目を通しておくことや、実際現場で働く人への想像力を働かせることによって、小山市でも他地域と同様の課題、高齢化・貧困・ジェンダ―格差問題などについて、議会質問にも反映させられる。 DX を進めるにあたり、まずは業務の見直し、なんのためにやるのかを改めて問うことや、今後、情報社会から人間中心の社会への変化していくことを知り、小山市や議会内でどのように進むべきか参考になった。